

出生数最少 87万人

昨年 婚姻、70年ぶり減少率

厚生労働省が22日発表した人口動態統計速報によると、2020年の出生数は前年比2・9%減

の87万2683人と5年連続で過去最少となった。婚姻数は12・7%減

の53万7583組で、減少率は1950年以来70年ぶりの大きさ。新型コロナウイルス禍で婚姻の先延ばしもあったとみられる。

出生数の減少率は19年の5・5%減（速報値）に比べると小さかった。

19年は改元を受けた「令和婚」などで婚姻数がやや押し上げられた面があり、20年の出生数減少を抑える要因になったようだ。20年の婚姻数がコロナ禍で大きく減ったことは21年以降の出生数に響き、想定以上に少子化が加速する可能性がある。

出生数の減少の基調は変わらない。速報値で100万人を割り込んだ17年に比べ、20年は1割以上減った。都道府県別で出生数が前年を上回ったのは沖縄、福井の2県のみだった。